

## 吉野川講座

## Road to 「よりよい吉野川づくり」

初夏の風が心地いい季節になりましたね。吉野川講座 Road to「よりよい吉野川づくり」の連載も6回目となり、ついに季節が一巡しました。

ステージ2（「Our よしのがわ」Vol.38～41）では、「安全で安心できる吉野川の実現」をテーマに、水害から私たちを守るための様々な取組を、吉野川河川整備計画の基本理念に沿って学びました。

ステージ3では「地域の自然・景観・社会環境に調和し個性ある吉野川の創造」をテーマに、私たちを癒してくれる吉野川の素晴らしい景観や、河川空間の利用について学んでいくことにしましょう。



## 「よりよい吉野川づくり」への道のり



## 「地域の自然・景観・社会環境に調和し個性ある吉野川の創造」の理念

地域の自然や景観、社会環境に調和した河川空間を創出し、流域住民の積極的な自然活動や環境学習等の利用を促進するための施策を展開する。

（吉野川水系河川整備計画【変更】P97 抜粋）

## ▶ステージ3：地域の自然・景観・社会環境に調和し 個性ある吉野川の創造

ステージ2で紹介したように、大雨や地震などによる災害が発生すると、川は私たちの暮らしを脅かす存在になります。一方で、普段の川は私たちに安らぎや楽しさを与えてくれる場所でもあります。  
みんなは、川が好きかな？また、川のどんなところが好きかな？



私は、川の景色を見るのが好きです。特に夕暮れ時に、空と川が真っ赤になる景色を見るのが大好きです。



四国のみずべ八十八カ所 (P17 参照)  
フォトコンテスト受賞作品

僕は、夏休みに行った川遊びがとっても楽しかったです。泳いだり、生き物を探したりして1日中遊びました。  
川の水はすごくきれいで冷たくて、川が大好きになりました。



今はみんなにとって、とても身近な存在となっている川ですが、みんなに親んでもらえる川にするために、様々な取組が行われているのですよ。  
今回は、人々が川に親しみ、川を大切にする気持ちを育むためにどのような取組が行われているのか、について一緒に学んでいきましょう。

### 1. 河川を巡る状況の変化

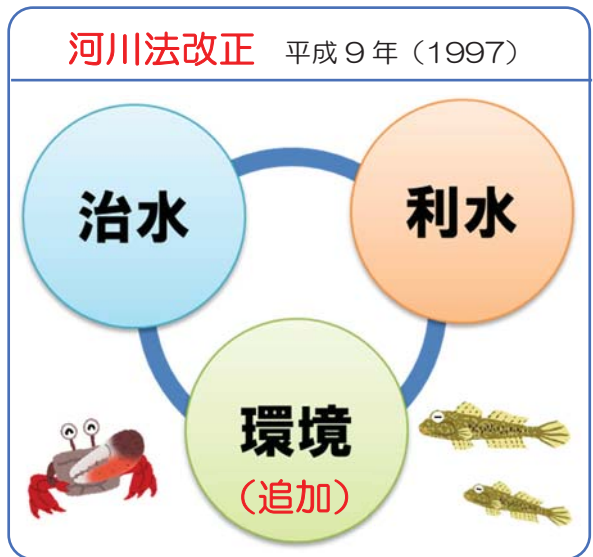
ステージ1(「Our よしのがわ」Vol.37)では、現在の吉野川河川整備計画が策定されるまでの背景として、河川法について触れました。

河川は昔から私たちの生活と密接に関係しているので、河川法も時代と共に変化しています。

平成9年に改正された河川法\*では、「河川環境の整備と保全」が法の目的に位置づけられました。

(※現在の河川法は、平成29年に改正)

人々の関心が自然環境や、自然との豊かな触れ合いなど多様化していることをうけて、水害のない安全な川とあわせて、環境や景観に配慮した川らしい川を創造しようという試みが、全国的に展開されています。





## 2. 吉野川水系における河川景観の形成と保全

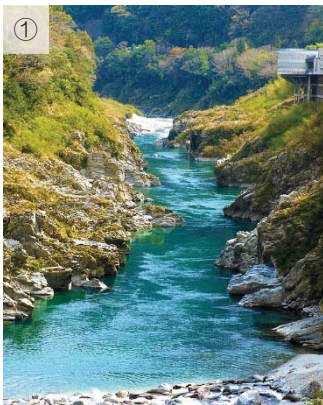
吉野川流域にはたくさんの素晴らしい風景があります。今、私たちが目にして  
いる風景は、長い時間をかけてできた地形やそこで暮らす人々の暮らしの歴史、  
天候等を含めた総合的な姿を映し出しています。

吉野川水系河川整備計画の中では、この姿を「**河川景観**」と呼び、河川景観を  
意識した取組を実施することを記載しています。

まずは、吉野川の河川景観にはどのような特徴があるか、確認しましょう。



### 吉野川の特徴的な河川景観 **河口干潟、広いレキ河原や河岸の水害防備林等**



固有の生態系や豊かに流れる水、季節の変化  
や流域の歴史・文化等、吉野川の優れた河川  
景観を形作っているのが特徴。



#### ①上流域（源流～池田ダム）

- ・大歩危・小歩危をはじめとする、多くの観光客で賑わう渓谷美の豊かな四国有数の景勝地

#### ②中流域（池田ダム～第十堰湛水域上流端）

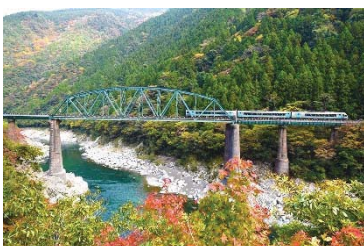
- ・広いレキ河原や、藩政時代から水害防備林として植林されてきた竹林が広がるなど、吉野川の歴史や文化と関りを醸し出す河川景観

#### ③下流域（第十堰湛水域～河口）

- ・河口部には広大な干潟が広がり、雄大な河川景観を呈す

### ★吉野川の SNS 映えするスポット

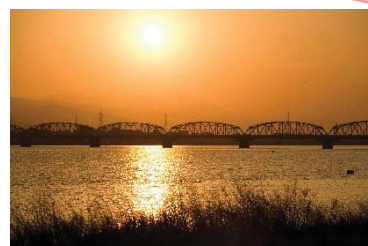
吉野川は季節や時間ごとに  
色んな景色が楽しめますね。



上流：小歩危溪（秋）



中流：善入寺島付近（夏）



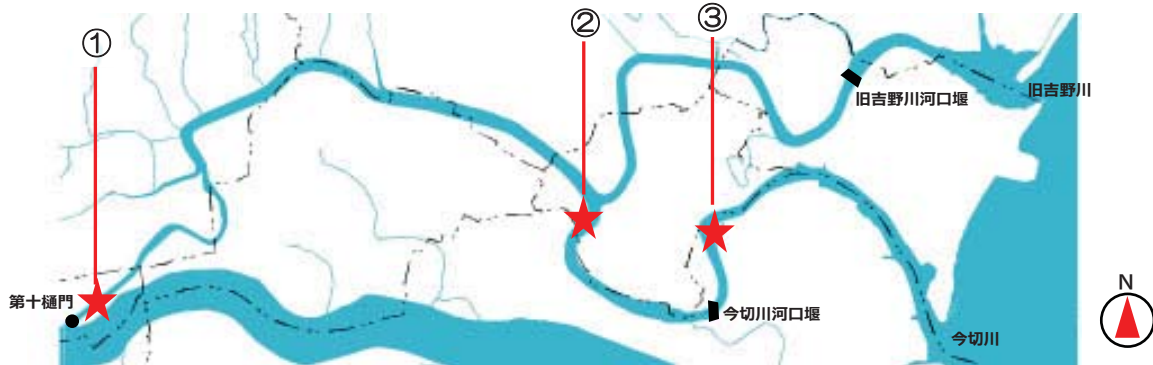
下流：吉野川河口（冬）



**旧吉野川・今切川の特徴的な河川景観**

ヨシ群落等による自然度の高い景観や、  
河口部市街地の工業・商業的な景観まで多様に变化

河岸と水面が一体となった自然度の高い景観  
や市街地空間の中であって、安らぎを感じる  
ことのできる景観を形作っているのが特徴。



- ① 上流域（第十樋門～今切川分派点）
  - ・水際に生育するヨシ群落やマダケ植林等と穏やかに流れる水面が一体となる自然度の高い景観
- ② 中流域（今切川分派点～旧吉野川および今切川河口堰）
  - ・市街化が進んでいる平野部を緩やかに流下しており、川沿いには住宅地や工場が点在
- ③ 下流域（両河口堰～河口）
  - ・大部分がコンクリート護岸を有し、比較的単調で人工的な景観を呈す

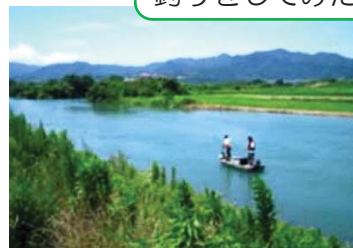
★旧吉野川・今切川の SNS 映えするスポット



第十樋門下流（春）



今切川（工場夜景）



鳴門藍住大橋付近（夏）

ボートに乗って旧吉野川で  
釣りをしてみたいです！



このように、川には昔からの自然や人々の営みによって作られてきた、たくさん  
の特徴的な河川景観があります。

地域社会の歴史の中で形づくられた吉野川の景観も、旧吉野川や今切川のような  
河川周辺の建築物や市街地を含めた景観も、私たちが癒してくれますね。これか  
ら河川景観を守り、多くの人々がより一層川と親しむことができるような取組  
が必要なのです。



～コラム みずべの魅力的な景観を伝えるための取組～

●四国のみずべ八十八カ所

「四国のみずべ八十八カ所」とは、「四国八十八ヶ所霊場」にちなんで、四国の魅力的な水辺を八十八カ所選定したものです。

四国地方において21世紀の伝えたい、地域が誇れる水辺空間の保全、創出をテーマに「歴史、文化、風土に潜む魅力創出」、「情ある人間交流の再形成」、「地域の特徴を活かした活性化」、「四季折々に魅力あふれるみずべ」の視点から、一般の方々から写真を募り、「四国のみずべ八十八カ所」実行委員会が選考しました。

吉野川流域は、吉野川の河口、第十堰周辺、善入寺島周辺、穴吹川等、全部で21地点が選定されています。

四国のみずべ八十八カ所

徳島県

- 1 瑞穂海堤
- 2 ウチノ橋
- 3 吉野川河口
- 4 善入寺島周辺のみずべ
- 5 善入寺島周辺のみずべ
- 6 善入寺島の瀨
- 7 瀨田瀨
- 8 瀨田瀨とたひの尻瀨
- 9 小津倉・小津倉
- 10 奥田谷二番かす三橋と丸石谷山
- 11 土筆・橋
- 12 貴光ゆりゆう長瀬辺の竹林のみずべ
- 13 穴吹川
- 14 雨之瀨
- 15 ごんにくく橋のみずべ(船津山)
- 16 新野川水際公園とケンチョピア
- 17 藍歌ライン
- 18 日和佐海岸(穴浜海岸)
- 19 善九十九瀬と王金魚谷川
- 20 海部川
- 21 田川



👉「四国のみずべ八十八カ所」ウェブページ

<https://www.skr.mlit.go.jp/kasen/mizube88/index.htm>

●徳島河川国道事務所ウェブサイト「吉野川資料館」

徳島河川国道事務所ウェブサイトでは、吉野川の景観や遊べるスポット等を「吉野川資料館」の「吉野川を体験しよう」というコーナーで発信しています。

～徳島地域の未来を創る道づくり・河づくり～  
国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

吉野川資料館

吉野川を体験しよう

写真  
吉野川ギャラリー  
吉野川の風景写真  
空から見た吉野川

周辺  
公園・川遊びのポイント  
吉野川みどころmap  
ガイドブック吉野川探訪  
川の時刻表 [PDF]

空から見た吉野川

ヘリコプターに乗って吉野川上空から写真を撮ろう！  
地上のカメラマークに合わせてクリックすると、その地点からの航空写真が表示されます。  
同じ川でもその瀬は場所によって全く異なります。  
川幅が狭く山側をうらうらに屈折して流れる上流域。広がった川幅を緩やかに流れる下流域。  
季節や時間帯によっても変わる吉野川の様々な表情をぜひご覧ください！  
※写真は平成24年9月に撮影したものです。

吉野川下流域

クリック

西津橋 (岡波市・吉野川市)  
河口から約40km

池田・徳島間のおよそ中間に位置する。吉野川において川幅が最も狭い地点。橋が架かる以前は南岸と北岸を結ぶ「古津渡し」があり、交通の要所として人々の生活を豊かにする重要な役割を担っていた。

「空から見た吉野川」では、ドローンで撮影した吉野川の絶景写真を見ることが出来るよ。見たいポイントにマウスを合わせると、可愛いヘリコプターと一緒に移動する、楽しいしかけになっているよ。



### 3. 河川空間の利用について

#### 河川空間の利用に関する目標

- ① 人と川とのふれあいや環境学習の場等の確保については、河川環境との調和を図りつつ、多くの人々がより一層川に親しむことができるように努める。
- ② 関係機関や地域住民等と連携して、人々が貴重な自然や水辺空間とのふれあいを体験できる施策を推進することにより、人と川、地域と川との共生関係を築くとともに、人と自然の交流の促進に努める。



次に、河川空間の利用についてみてみましょう。

私たちは様々な形で河川や河川敷などを利用していますが、実は、吉野川水系河川整備計画では、河川の利用に関して目標を定め、様々な取組を行っているのですよ。

#### 河川空間の主な利用



##### ●吉野川

吉野川では、アユ等の漁業やシジミ等の採捕が行われています。

特に、景勝地となっている「大歩危峡」は、観光客が多く訪れ遊覧船も運行するなど、**吉野川の自然を感じることができる水辺空間**となっています。

【水 面】アユ釣り、ラフティング

【河川敷】野球・サッカー等の大会、  
農地、各種イベント、遊覧船の運行など

【水 際】釣り、野外環境学習

【堤 防】散策・ジョギング



▲アユ釣り



▲遊覧船  
(大歩危峡)



▲ラフティング体験



▲吉野川フェスティバル



▲ひょうたん島クルーズ



▲ファミリーハゼ釣り大会



●旧吉野川・今切川

河口堰上流は、住宅が広がる平野部を緩やかに流れる豊かな自然空間です。

今切川分派点付近（三ツ合公園・今切川水辺プラザ）は、近年の健康志向の高まりを背景に、地域の人々の憩いの場となっています。

【水面】釣り、漕艇の練習

【河川敷】散策、野外活動

【水際】釣り、清掃活動

【堤防】散策・ジョギング



▲漕艇の練習



▲清掃活動



キレイな河川景観の中で活動すると、川を大事にする気持ちも育ち、心も体も健康になれますね。

(参考)河川水辺の国勢調査・「川の通信簿」

河川を“環境”という観点からとらえた、定期的・継続的・統一した河川に関する基礎情報の収集整備を図ることを目的とした「河川水辺の国勢調査」の項目の1つに「空間利用実態調査・利用状況調査」があります。

徳島河川国道事務所では、吉野川・旧吉野川の管轄区間（延長：約114km）の両岸を調査対象区間とし、調査マニュアルにもとづき、河川空間の利用実態調査および利用者数の集計を行っています。（図1）\*利用実態調査成果より抜粋

また、河川水辺の国勢調査の一環として作成しているのが「川の通信簿」です。

全国の河川空間の親しみやすさや快適性などを現地において市民と共同でアンケート調査を実施した結果から、良い点・悪い点を把握し、河川整備計画や日常の維持管理に反映することにより、良好な河川空間の保全、整備、管理を図っています。

15の点検項目があり、箇所毎にそれらの重要度、良い悪いなどの状態、整備の必要性を点検し、最後に5段階評価を行います。（図2）

河川水辺の国勢調査、「川の通信簿」は、徳島河川国道事務所ウェブサイト「吉野川資料館」の「吉野川的环境」で公開しています。

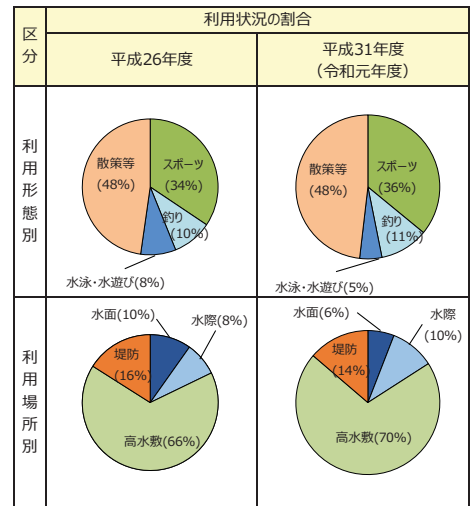


図1.吉野川水系の年間河川空間利用状況



図2.「川の通信簿」

## 4. 川に親しむ取組

徳島河川国道事務所では、身近な自然である吉野川に親しみ、吉野川への関心を高めるさまざまな活動を実施しています。

これからも、自然体験活動を通して、将来を担う子供たちの環境教育への積極的な支援や、地域住民と連携した河川愛護活動等を行います。



### フィールド講座

「吉野川に棲む生き物は?」「あの施設はなあに?」「吉野川の管理はどのようにしているの?」などについて、皆さんと一緒に吉野川に出かけ、川の調査や施設などについて説明などを行っています。

9月

#### 干潟観察会



◀絶滅危惧種のシオマネキ等を観察し、吉野川の環境の現状を知るとともに、豊かな自然に親しんでいただきます。

▶特定外来生物のナルトサワギク（植物）が大量に繁殖している吉野川河口干潟において、在来海浜植物の生息地を守るための駆除作業を実施しています。

適宜

#### ナルトサワギク駆除



7月～  
8月

#### 交流体験 in よしのがわ 水難事故防止講習会



◀吉野川上流・中流・下流の三カ所で、川で遊ぶ際の注意事項や、ライフジャケットの正しい着用方法を学ぶ、水難事故防止講習会を実施しています。

6月～  
7月

#### 水生生物調査



◀小学生を対象に水生生物による簡易水質調査を実施しています。“指標生物”といわれる水生生物の生息を調べることで、水質を評価します。

10月

#### ファミリーハセ釣り大会



◀釣りを通じて家族で自然とふれあい、生き物観察や清掃活動を通じて、川を美しく守ることを目的に開催しています。参加賞や、釣ったサイズに応じて賞品もあります！

7月  
7日

#### 水辺で乾杯! In 新町川



◀7月7日午後7時7分のタナバタイムに、自分たちが選んだ「水辺」で全国一斉に乾杯し、水辺を楽しむ取組です。徳島では新町川水際公園の両国棧橋で開催しています。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し実施しました。



今回の旅はどうだったかな？

吉野川には魅力的な河川景観があり、多くの人が川に親しんでいる様子がわかったかな？機会があれば、上記のイベントにも参加してみてくださいね！

次号 (Vol.43) では、引き続きステージ 3 を旅します。河川空間の整備や利用に関して、市町村や民間業者、地域住民、河川管理者が連携して行っている、魅力的な河川空間を創出するための取組について学んでいきましょう！お楽しみに！